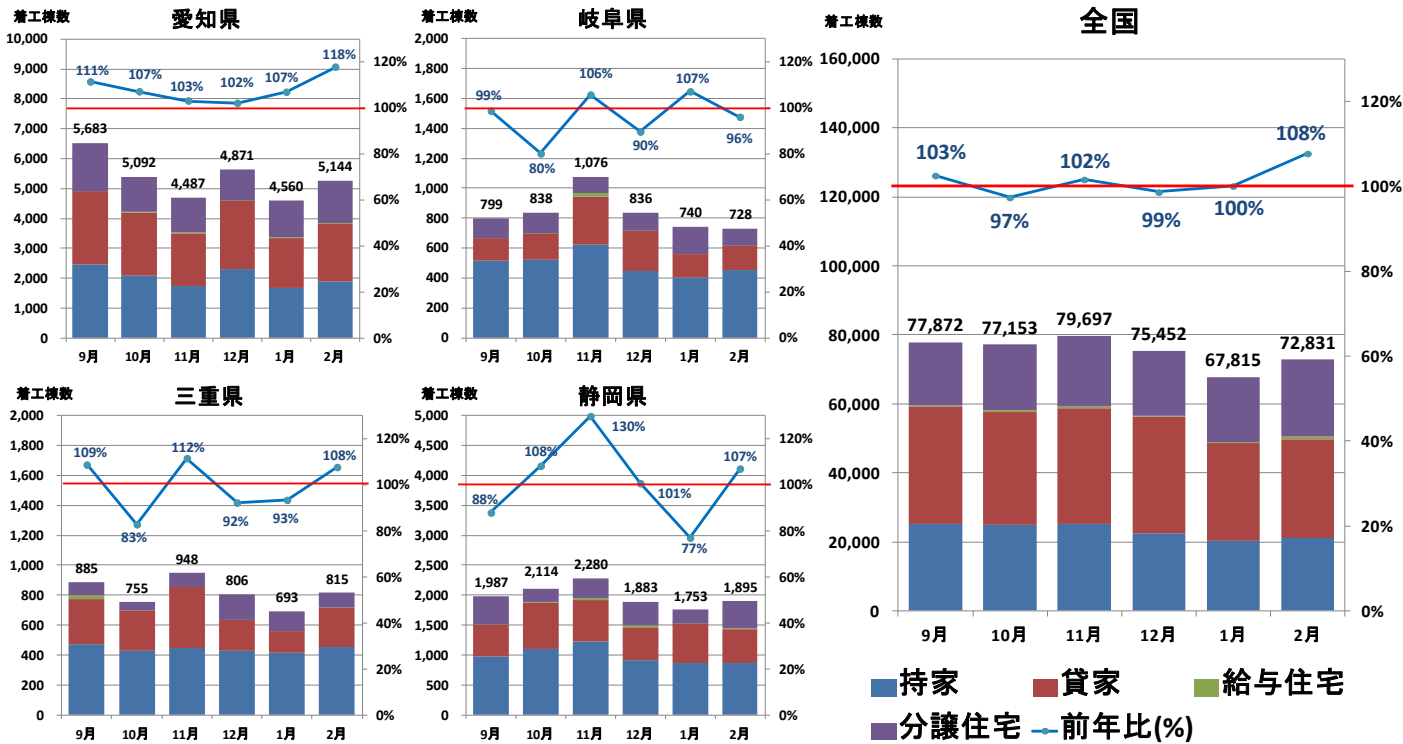


## 東海4県の着工推移



出典:着工データ 国土交通省

## 住宅省エネ表示制度『住宅版BELS』始まる

BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)とは、住宅・建築物の省エネルギー性能を評価・表示する第三者認証制度です。

省エネ基準よりも高い性能が表示され、5段階の星の数で評価、表示でき、住宅性能がアピールすることができます。

★★★★★	BEI ≤ 0.8
★★★★	0.8 < BEI ≤ 0.85
★★★ (誘導基準)	0.85 < BEI ≤ 0.9
★★ (省エネ基準)	0.9 < BEI ≤ 1.0
★ (既存の省エネ基準)	1.0 < BEI ≤ 1.1

BEI※の値から判断された星数を表示  
 ※BEI=設計一次エネルギー消費量/  
 基準一次エネルギー消費量



この住宅の設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギーからの削減率  
 共同住宅の住棟および住戸による評価を行った場合は、「この住棟の」、「この住戸」などと表示

一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	適合 U <sub>e</sub> = 0.65

一次エネルギー消費量、外皮性能の「建築物エネルギー消費性能基準」への可否を記載。

※制度や支援措置等の詳細は国土交通省HP「建築物省エネ法のページ」を参照ください。

# 「住生活基本計画」が5年ぶりに見直し

国の住宅政策の方向性を示す「住生活基本計画」(全国計画)が5年ぶりに見直され、3月18日に閣議決定されました。新計画の基本的な方針は、①住宅政策の方向性を国民に分かりやすく示す②今後10年の課題に対応する政策を多様な視点に立って示し、総合的に実施③**3つの視点から、8つの目標を設定**となりました。

## ①居住者からの視点

### 目標1

結婚を希望する若年世帯・子育て世帯が安心して暮らせる住生活の実現

### 目標2

高齢者が自立して暮らすことができる住生活の実現

### 目標3

住宅の確保に特に配慮を要する者の住居の安定の確保

## ②住宅ストックからの視点

### ★ 目標4

住宅すごろくを超える新たな住宅循環システムの構築

### ★ 目標5

建替えやリフォームによる安全で質の高い住宅ストックへの更新

### ★ 目標6

急増する空き家の活用・除去の推進

## ③産業・地域からの視点

### 目標7

強い経済の実現に貢献する住生活産業の成長

### 目標8

住宅地の魅力の維持・向上

## ★ 目標の主な成果指標 ●は新規

- リフォームの市場規模 7兆円(平成25年) ⇒ 12兆円(平成37年)
- 既存住宅流通の市場規模 4兆円(平成25年) ⇒ 8兆円(平成37年)
- 既存住宅流通量に占める瑕疵保険加入割合 5%(平成26年) ⇒ 20%(平成37年)
- 新築住宅における認定長期優良住宅の割合 11.3%(平成25年) ⇒ 20%(平成37年)
- 省エネ基準を満たす住宅ストックの割合 6%(平成25年) ⇒ 20%(平成37年)
- マンションの建替え等の件数(S50からの累計) 約250件(平成25年) ⇒ 約500件(平成37年)
- 空室等対策計画を策定した市区町村の全市区町村数に対する割合 0%(平成26年) ⇒ おおむね80%(平成37年)
- 賃貸・売却用等以外「その他空き家」数 318万戸(平成25年) ⇒ 400万戸に抑える(平成37年)